



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2021/3/1 No.27

2021年2月1日提出

八地申第21号

2月25日開催

その1

## 安全な八王子駅輸送業務を構築 するための申し入れ交渉開催！

1. 今後の八王子駅輸送社員の業務内容と、会社として考えている立ち番が必要な時間帯を明確にした作業ダイヤを示すこと。また車いすご利用のお客さま案内を委託した後のフロー図を示すこと。

組合：社会の変化に対応し、変革 2027 を率先して担いつつ赤字を克服するために尽力をしている。今回作成の会社として作業ダイヤの考え方を明らかにされたい。

会社：立ち番は 7:00~9:00 と 18:00~20:00、その他は改札などの業務を担当するが、ホーム巡回の作業を新設する。安全がすべてに優先する。作業ダイヤを柔軟化していくが、社員の意見を参考にしつつよりよい作業ダイヤになるよう見直しは行っていく。

→今回作成の作業ダイヤがすべてではない。今後の状況によって見直しをしていくことを確認。

2. 輸送社員が常時業務する箇所の明確化と、ホーム上の安全を確認できるモニタを増設置すること。また、信号所から列車停止警報装置や放送できる設備を整備すること。

組合：輸送社員の執務個所と執務個所における設備はどうなっているのか。今後の下りホームの状態監視はどのように行うのか。

会社：基本信号所での業務となる。下りホーム事務室の設備については移設したが、融雪機の操作盤のみ残っている。放送設備については現場と連携して確認していく。

→社員の意見を聞きつつ、改善していくことを確認。

3. コロナ禍において、業務箇所が密になるような業務体制を避けること。下りホーム事務室を今後も活用すること。

組合：下りホームには乗務員が使用するトイレもあり必要な個所と考える。

会社：信号所は窓がなく内勤だけが換気扇などで対策はしている。ホーム巡回や車内点検時の間合い時間など下りホーム事務室は活用していく。

→今後も下りホームの事務室は使用していくことを確認。

4. 安全と案内サービス上、優等列車発着時に立ち番を配置し乗降終了合図を行うこと。

ITVを整備しても1画面3両×4画面12両が限界である。また、9号車の中間はITVが整備されておらず、ドアを閉める際は180度の視野が必要となる。中線も整備されていない箇所があることから、「あずさ・かいじ」等の優等列車の発着時は立ち番を配置した作業ダイヤを確保すること。

組合：2019年3月のダイヤ改正において「あずさ・かいじ」の停車駅を大幅に見直しパターン化したが、2020年3月の改正で列車毎に停車駅を変えたため、下りの発場面ではご案内含めてホーム上の放送案内と乗降終了合図が必要と考える。特に中線発は危険である。八王子駅は支社がある玄関口。輸送社員は2徹でも勤務可能なので現在員措置でも輸送に1徹追加すべき。月2.3回の泊勤務では手当てが少なくなり、生活設計を見直すようになる。輸送社員もモチベーションが上がらない。日勤と泊まりでは出勤時の感染リスク管理上のコロナ対策としても有効である。

会社：ITVに関しては乗務員区立会いの下、新設や画角調整をしてきた。中線発の12両については合図を出す。ご案内の重要性は認識している。社員の意見を参考にしつつよりよい作業ダイヤになるよう見直しは行っていく。

→中線発の12両については合図を出すことを確認。ホーム上における安全確保とご案内の重要性について認識は一致。

その2へ